

○名取市第六次長期総合計画 地方創生総合戦略版 進捗状況

【基本目標①】

令和3年9月1日
企画部政策企画課作成資料-2

稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

(1)基本目標に対する数値目標

		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標値	進捗率
① 就業人口	36,510人→37,670人 (国勢調査)	-					37,670 (人)	-
② 新規の起業件数【累計】	1件→8件	7 (2) (件)					8 (件)	85.7%
③ 企業立地件数【累計】 (名取市企業立地促進条例に基づく指定企業許可件数)	33件→41件	37 (2) (件)					41 (件)	50.0%

<各項目の実績値の表記について>

- 2段書きの場合
上段：当該年度までの延べ実績値(目標値が述べ実績値)
下段()書き:当該年度(単年度)の実績値
- 1段書きの場合
当該年度終了時点での実績値

(2)施策の基本的方向

- (ア) 安定的で収益性の高い農業経営を実現するため、6次産業化及び集落営農・法人化の支援や新規就農者の育成・確保に取り組みます。
- (イ) 漁業と水産加工業を含む地域水産業の一体的な振興に向け、特産品の開発支援やブランド化、水産物の付加価値向上に取り組みます。
- (ウ) 産学金連携や異分野・業種間の企業連携を促進し、新たな商品・技術・サービス等の創出を支援するとともに、販路拡大や経営力の強化と人材育成に向けた支援の充実を図ります。
- (エ) 本市の地理的特性や産業基盤等の強みを生かすとともに、新たな産業基盤を整備し、立地企業に対する優遇施策の充実など立地優位性を確立し、企業誘致を推進します。
- (オ) オフィスの確保や資金面での支援、経営指導や情報提供等、本市での起業を支援します。
- (カ) 労働力の確保に向けて、高齢者や女性等の活躍の場の創出や外国人労働者の活用促進、人材育成等に取り組みます。

(3)具体的な施策・施策ごとの進捗状況

NO.	施策名	具体的な施策	数値目標項目	重要業績評価指標(KPI) 現状値:H29年度/目標値:令和6年度	KPIに対する実績値					進捗状況(令和2年度)		担当課
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	進捗率	令和2年度の取組内容及び今後の取組方針について	
1	3-1-1 生産性・付加価値の高い農業の確立	○付加価値が高く競争力のある農業経営を実現するため、農業の6次産業化を促進します。	①	6次産業化事業者数(人)【累計】 (現状値) 2人 → (目標値) 3人	2 (0)					0.0%	新型コロナウイルス感染症により6次化を促進する上での情報収集の場である研修や視察等の機会が無かったが、今後は、新型コロナ感染症を注視しながら取り組みを行う。	農林水産課
2	3-1-3 安定的な農業経営の推進	○地域の実情に合わせた集落営農組織や法人化を促進し、強固な農業経営体と次代につながる生産体制の構築に向けた取り組みを支援します。	①	農業法人(法人数)【累計】 (現状値) 10法人 → (目標値) 11法人	12 (2)					200.0%	経営の効率化を図るため、複数の認定農業者からなる組織化した法人や一戸一法人(家族経営からの法人化)、新規に農業へ参入する法人が今後も増加傾向にあるので、継続した支援に取り組む。	農林水産課
3	3-1-3 安定的な農業経営の推進	○農業次世代人材投資事業等を活用し、自立を目指す農業後継者や新規に農業経営を目指す方の支援に取り組みます。	①	新たに認定された認定新規就農者数(人)【累計】 (現状値) 7人 → (目標値) 14人	13 (2)					85.7%	令和2年度中における新規事業活用者は、1人であり、今後、事業活用期間終了者への継続した支援を図り、認定農業者への取り組みを強化する。	農林水産課
4	3-3-4 水産物の高付加価値化	○日本随一の食味を誇る赤貝の廉価流通の抑制や出荷品質基準を検討し、ブランド力の更なる向上を図ります。	①	閉上漁港水揚高(t) (現状値) 182t → (目標値) 220t	201					50.0%	貝毒発生の影響により、操業日数が少なかったのに加え、新型コロナウイルス感染症により首都圏飲食店営業の休止の影響を受けたが、引き続き出荷品質の向上に努める。	農林水産課
5	3-3-4 水産物の高付加価値化	○新規魚種の漁獲支援を行うとともに、水産加工団地への供給体制を整備することで、販路拡大を図ります。	①	水産加工物の新商品開発件数(件)【累計】 (現状値) 17件 → (目標値) 40件	55 (14)					165.2%	今後も引き続き水産問題対策協議会を中心に研修会や商品開発の取り組みを行う。	農林水産課
6	3-4-1 地域に密着した特色ある商業の振興	○地域活性化のため地場産品の販売などに取り組む事業者への支援を行います。	①	取組事業者数(人) (現状値) 16人 → (目標値) 18人	42					1300.0%	例年行っているうまいもん名取の他、「いどり名取マーケットドライブスルー年末特別販売会」、「北限のしらすやってくる2020キャンペーン」など複数店舗による出店イベントの開催・支援により数値の上では大きくなった。コロナ禍ならではのイベントでもあり、次年度は本年度の数値を超えることにはこだわらず、効果的な支援を行う。	商工観光課
7	3-4-2 経営力の強化と人材育成	○商業団体が取り組む地域の活性化や賑わいづくりに向けた活動を支援します。	①・②	商店街イベント開催件数(件) (現状値) 5件 → (目標値) 8件	0					-166.7%	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により商店街イベントは全て中止となった。今後は感染状況を注視しながら名取市商工会と連携して開催に向けて取り組む。	商工観光課
8	3-4-3 産学金連携等による支援	○新たに海外輸出に向けた挑戦を行う事業者の取り組みを支援することで、海外市場における販路開拓を支援します。	①	海外輸出に取組む新規事業者数(人)【累計】 (現状値) -人 → (目標値) 3人	0 (0)					0.0%	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大で経済活動が停滞したことにより海外輸出を目指す事業者がいなかった。今後は名取市商工会と連携し事業者の掘り起こしと情報の周知に取り組む。	商工観光課
9	3-4-3 産学金連携等による支援	○産学金の連携等による各種共同研究や本市の特色を生かした特産品の開発を支援します。	①	産学官連携による新商品の開発件数(件)【累計】 (現状値) 7件 → (目標値) 14件	8 (1)					14.3%	令和2年度は、補助金制度の活用を推進すべく、最大3か年度の補助金交付を可能とする要綱改正を行った。今後は、制度活用に繋げるべく教育機関及び企業への呼びかけや産学のマッチングも検討する。	商工観光課

NO.	施策名	具体的な施策	数値目標項目	重要業績評価指標(KPI) 現状値:H29年度/目標値:令和6年度	KPIに対する実績値					進捗状況(令和2年度)		担当課
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	進捗率	令和2年度の取組内容及び今後の取組方針について	
10	3-6-1 工業・流通業務系の企業誘致 拠点・産業基盤の整備	○中小企業のニーズに対応するため、区画の整備等新たな工業基盤を整備します。	①・③	新規工業用地整備面積(ha)【累計】 (現状値) -ha → (目標値) 5.5ha	0 (0)					0.0%	飯野坂東部地区についてはR2.5市街化区域編入を行なった。R3.3組合設立認可し公告済み。R3.4に組合設立、令和3年度に工事着手予定。	都市計画課
11	3-6-2 既存集積業種の集積化促進 と技術力の高い中小企業の誘致	○既存集積業種の高度電子機械産業と食品製造業、業務系の情報通信関連産業の誘致を促進します。	①・③	対象企業の立地件数(件)【累計】 (現状値) 20件 → (目標値) 25件	26 (2)					120.0%	令和2年度は、対象企業2社の進出があった。 (閑上東地区1社・愛島西部工業団地(第一期)1社) 今後も市内の産業振興及び雇用の創出に資する業種の企業誘致を進める。	商工観光課
12	3-6-3 立地優位性の確保と優遇施策の充実	○閑上東地区産業用地への企業誘致を推進します。	①・③	産業用地(水産加工団地含む)の誘致面積(ha)【累計】 (現状値) 3.5ha → (目標値) 19.8ha	10.7 (2.5)					44.2%	これまでに7回の公募を実施し、計34社が閑上東地区に進出決定となった(※第7回の公募は年度末に実施のため、立地協定はR3.4月実施)。令和3年度も引き続き当該地区の誘致を進める。	商工観光課
13	3-6-4 起業支援の充実と起業人材の育成	○市内の空き店舗を活用したチャレンジショップ事業を行うなど、創業・起業支援に取り組みます。	①	チャレンジショップ事業利用件数(件)【累計】 (現状値) 1件 → (目標値) 14件	12 (4)					84.6%	令和2年度は空き店舗活用支援事業で2件・チャレンジショップ事業で2件の計4件実績があった。今後も名取市商工会と連携し起業支援に取り組む。	商工観光課
14	3-6-4 起業支援の充実と起業人材の育成	○学生の起業支援に向けた環境整備を検討します。	①	インキュベーション施設数(件) (現状値) -件 → (目標値) 1件	0					0.0%	令和2年度は他自治体のインキュベーション施設等の事例について研究を行った。今後、各種交付金等を活用したインキュベーション施設の設置について検討する。	なとりの魅力創生課
15	3-7-1 働きやすい雇用環境の整備	○市民が地域で安定して就業できるよう、関係機関と連携し、勤労者福祉の充実や能力開発研修など支援に取り組みます。 ○ハローワークとの連携による「出張ハローワーク」を開催し、求職者に対する企業説明会や個別相談会を実施することで、市内企業への就業促進、非正規雇用対策に取り組めます。	①	出張ハローワーク参加者数(人) (現状値) 293人 → (目標値) 350人	34					-454.4%	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から参加者を事前申し込み制としたことから大幅な減となった。今後はハローワーク仙台や岩沼市と連携し実施体制を検討する。	商工観光課
16	3-7-3 労働力の確保	○外国人労働者が働きやすい環境の整備や高齢者、女性等の活躍の場の創出等により、労働力の確保に努めます。	①	ママインターシップ事業参加者の就業者数(人) (現状値) 3人 → (目標値) 12人	4					11.1%	受講者8名のうち再就職者は4名だった。残り4名は自力で求職活動を継続したり、特技を活かした個人事業者への道を検討する。	市民協働課
17	3-7-3 労働力の確保	○市内の教育機関が行う地元企業へのインターンシップについて、企業の負担の軽減策を検討しつつ、支援することで、学生の市内企業への就業を促進します。	①	企業説明会の参加者数(人) (現状値) -人 → (目標値) 100人	240					240.0%	令和2年度から宮農高1年生を対象に企業説明会を実施している。今後も継続して実施する。	商工観光課

【基本目標②】

名取市とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる

(1) 基本目標に対する数値目標

	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標値	進捗率
① 令和2年から令和6年までの5年間で、累計2,870人の社会増を目指します。【累計】	324 (人)					2,870 (人)	11.3%
② 観光客入込数	833,556人 → 1,320,000人	1,165,700 (人)				1,320,000 (人)	68.3%

＜各項目の実績値の表記について＞
 ●2段書きの場合
 上段：当該年度までの延べ実績値(目標値が述べ実績値)
 下段()書き:当該年度(単年度)の実績値
 ●1段書きの場合
 当該年度終了時点での実績値

(2) 施策の基本的方向

- (ア) 地域特性を生かした観光資源の活用・造成により、国内外からの観光誘客に取り組みます。
- (イ) 移住・定住を促進するため、土地の高度利用や空き地の活用、住宅団地の活性化を図り、魅力と利便性を備えた居住空間の創出を図ります。
- (ウ) なとりブランドの育成やなとり百選の後継となる取り組みなど、本市の魅力が伝わり、広がる好循環を生む仕掛けづくりを推進します。
- (エ) 交流人口・関係人口の拡大を図り、本市に住み続けたい、市に愛着と誇りを持つ市民を増やし出す。

(3) 具体的な施策・施策ごとの進捗状況

NO.	施策名	具体的な施策	数値目標項目	重要業績評価指標(KPI) 現状値:H29年度/目標値:令和6年度	進捗状況(令和2年度)					担当課		
					KPIに対する実績値						進捗率	令和2年度の取組内容及び今後の取組方針について
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
18	3-5-1 地域特性を生かした観光の仕掛けづくり	○市内観光拠点の周遊を促す取り組みを行います。	②	着地型ツアーの開催(件/年) (現状値) -件/年 → (目標値) 5件/年	6					120.0%	市により地域連携モニターツアー事業の他、観光物産事業を委託している観光物産協会によりツアーを実施。今後は教育旅行の誘致や造成したツアー商品の販売促進に努める。	商工観光課
19	3-5-1 地域特性を生かした観光の仕掛けづくり	○かわまちてらす閑上など名取川エリアの新たな観光資源の醸成に努めます。	②	かわまちてらす閑上・ゆりあげ港朝市来客者数(人) (現状値)386,500人 →(目標値) 760,000人	777,551					104.7%	屋外がメインの観光地であることから、新型コロナウイルス感染症の影響が少なく順調に推移した。今後は舟運事業など、両地点の連携に向けた施策を推進する。 (かわまちてらす閑上471,351人 ゆりあげ港朝市306,200人)	商工観光課
20	3-5-2 観光資源の活用・造成	○閑上地区と仙台空港を結ぶ舟運事業を促進します。	②	貞山運河舟運事業の利用者数(人) (現状値) -人 → (目標値) 1,500人	906					60.4%	採算性の低い土曜運航を休止したこともあり採算性は改善している。今後、新航路の就航やイベント貸切による利用者数の増加を目指し、事業者と連携する。	商工観光課
21	3-5-2 観光資源の活用・造成	○サイクルスポーツセンターや名取トレイルセンターを拠点に自転車やトレッキング、カヌー等による、人力で楽しむ観光を推進します。	②	サイクルスポーツセンターの利用者数(人) (現状値) -人 → (目標値) 30,000人	67,790					226.0%	屋外施設利用について、新型コロナウイルス感染症の影響が少なく順調に推移した。今後は宿泊の利用についても促進し、市外・県外からの誘客を促進する。	商工観光課
22	3-5-2 観光資源の活用・造成	○市民や企業が主体となって実施する市外からの観光誘客を目的としたイベントを支援します。	②	なとり夏まつりの入込客数(人) (現状値) 20,000人 → (目標値) 35,000人	0					-133.3%	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止となったが、令和3年度も同様に中止となった。震災後初の閑上開催に向けて準備を進めてきたが、令和4年度の閑上開催に向けて引き続き準備する。	商工観光課
23	3-5-5 広域観光の推進	○周辺地域との広域連携により、観光誘客の仕掛けづくりやPR、海外からの誘客等に取り組みます。	②	外国人宿泊者数(人) (現状値) -人 → (目標値) 1,500人	116					7.7%	新型コロナウイルス感染症の影響により全国的に外国人旅行者が大きく減少したことから宿泊者も大幅に減少した。世界的なワクチン接種の進行に伴う渡航数の回復を見越して商品造成等の施策を推進する。	商工観光課
24	5-4-3 移住・定住を促進するための居住地の確保	○地区計画の見直しなど、郊外型住宅団地の活性化を図るための施策について市民との協働により検討します。	①	住民との勉強会等の件数(件) (現状値) -件 → (目標値) 3件	10					333.3%	愛島台の地区計画変更のため令和2年度は10回程度、自治会、地権者と協議を重ねてきた。令和3年度に都市計画の提案制度により地権者及び自治会から提出してくることから変更する。	都市計画課
25	5-4-4 空き家対策の推進	○空き地、空き店舗、空き家の利活用を促進します。	①	空き家の利活用数(戸)【累計】 (現状値) -戸 → (目標値) 5戸	0 (0)					0.0%	令和2年度に空家実態調査を実施。また、令和3年度の「名取市空家等対策計画」の策定に向けて「名取市空家等の適切な管理及び有効活用の促進に関する条例」を施行(令和3年4月1日)すると共に、空家等対策協議会設立に向けた準備等を行った。令和3年度に入り、空家等対策協議会を設立し「名取市空家等対策計画」の策定に取り組んでおり、同計画の中で空き家の利活用の方針についても検討を行う。	なとりの魅力創生課
26	6-1-1 なとりブランドの振興	○観光資源や地場産品が、なとりブランドとして全国的に評価されるものとなるよう、育成、PR、支援に取り組みます。	②	なとりブランド商品の開発件数(件)【累計】 (現状値) 1件 → (目標値) 2件	1 (0)					0.0%	令和2年度は市内の魅力ある生産物の情報収集を行った。引き続き情報収集を行うとともに、委託事業の中で特産品の発掘や磨き上げを進める。	商工観光課
27	6-1-2 地域情報発信力の強化	○テレビ、雑誌、ウェブサイト、SNSなどのほか、新たな手段も取り入れながら効果的なプロモーション・情報発信を行います。	①・②	効果的な情報発信ツールの令和2年度以降の導入件数(件)【累計】 (現状値) -件 → (目標値) 3件	1 (1)					33.3%	令和2年度から「ためまっぶなとり」の運用を開始。市内イベント情報や子育て情報について掲載している。また行政だけではなく、民間団体も登録できることから、市内で行われる幅広い情報について確認を行うことができる。令和3年度も継続的に運用していくとともに新たな発信ツールについても検討する。	なとりの魅力創生課

NO.	施策名	具体的な施策	数値目標項目	重要業績評価指標(KPI) 現状値:H29年度/目標値:令和6年度	進捗状況(令和2年度)					進捗率	令和2年度の取組内容及び今後の取組方針について	担当課
					KPIに対する実績値							
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
28	6-1-3 交流人口・関係人口の 拡大	○ふるさと納税の寄附者等に対し、定期的な情報提供などつながりを持つことができる仕掛けづくりを検討します。	①・②	ふるさと納税寄附件数(件) (現状値) 12,389件 → (目標値) 30,000件	36,902					139.2%	寄附者等へのアプローチに係る施策の検討を行った。他自治体で開催した、複数回ふるさと納税した人などを対象とするイベントを参考として、ふるさと納税してくれた方と繋がりづくりの取組を、引き続き関係各課で検討する。	財政課
29	6-1-4 移住支援の充実	○移住支援金支給事業の実施等により、移住交流を促進します。	①	移住支援金支給世帯数(件)【累計】 (現状値) -件 → (目標値) 5件	0 (0)					-	商工会の協力を得て移住支援金対象企業の登録に関するチラシを会員に配布し周知した。宮城県が主催するオンライン移住フェアへの参加や、名取市の住みよさを紹介する動画を作成し名取市HP上で公開することにより、対外的なPR活動を行った。 今後も令和2年度と同様の取り組みを行うと共に、名取市HPの移住情報の内容を充実させること、更には令和3年度に制作する名取市PR動画を活用し、効果的なPRと発信に取り組んでいく。	なとりの魅力創生課
30	6-1-4 移住支援の充実	○奨学金を活用した若者の定住を促進します。	①	奨学金返還支援制度の導入 (現状値) -件 → (目標値) 導入	-					-	奨学金返還支援制度の研究を行った。若者の定住支援については空家の活用や新規住宅購入時の補助等、他の補助も考えられることから、奨学金返還支援制度の他、若者定住支援策の実施について、効果的な定住支援方法の検討を進める。	なとりの魅力創生課
31	6-1-5 なとりの魅力の発信	○市内の魅力を再発見するため、市民との協働により、なとり百選の後継となる地域資源の再発掘事業を進めます。	①・②	なとり百選の後継となる取り組みの実施 (現状値) -件 → (目標値) 策定	-					-	令和2年度は、令和3年度からの実施に向け実施内容の検討を行った。令和3年度に入り「魅力発掘アンケート」及び「魅力発掘ワークショップ」を実施中。これにより集められた市内の魅力資源を一覧化し市民と共有することで、様々な角度からの市民協働による発信を促進する。また、集められた魅力資源から選定したものを冊子化して配布する事業を令和4年度に検討する。	なとりの魅力創生課

【基本目標③】

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(1)基本目標に対する数値目標

		R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績	目標値	進捗率
① 出生者数	718人→725人	563 (人)					725 (人)	-2214.3%
② 待機児童数	43人→0人	24 (人)					0 (人)	44.2%
③ 年少人口(15歳未満)	12,124人→13,200人	12,074 (人)					13,200 (人)	-4.6%

<各項目の実績値の表記について>

●2段書きの場合
 上段：当該年度までの延べ実績値(目標値が述べ実績値)
 下段()書き:当該年度(単年度)の実績値
 ●1段書きの場合
 当該年度終了時点での実績値

(2)施策の基本的方向

- (ア) 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談支援の充実を図り、養育のための知識普及や育児不安の解消に努めます。
- (イ) 仕事と子育ての両立を支援するため、保育ニーズの拡大に対応する提供体制の確保に努めるとともに、質の高い多様な保育サービスの充実に努めます。
- (ウ) 地域における多様な体験・交流活動や安心して過ごすことができる居場所づくりを推進するとともに、地域ぐるみで子育て家庭を支えるしくみの充実を図ります。
- (エ) 結婚を希望する方に対し、出会いの機会の創出と結婚相談に取り組みます。□

(3)具体的な施策・施策ごとの進捗状況

NO.	施策名	具体的な施策	数値目標項目	重要業績評価指標(KPI) 現状値:H29年度/目標値:令和6年度	進捗状況(令和2年度)						担当課	
					KPIに対する実績値					進捗率		令和2年度の取組内容及び今後の取組方針について
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
32	2-1-5 母子保健事業の充実	○特定不妊治療費助成事業(男性不妊も含む)の周知強化に努めます。	①・③	不妊治療費助成数(人) (現状値) 47人 → (目標値) 53人	64					283.3%	令和3年1月1日以降治療終了分より、助成回数が1子ごと6回まで(40歳以上43歳未満は3回)となり、助成できる機会が増えた。今後も必要とする人に情報が行き渡るよう周知に努める。	保健センター
33	2-4-1 保育サービスの充実	○保育ニーズの把握に努め、定員拡大等による待機児童の解消と保育内容の充実に努めます。	②	認可保育施設の定員数(人) (現状値) 915人 → (目標値) 1,614人	1,594					97.1%	令和元年4月1日現在の定員数と比較すると89人の増となっているが、これは令和元年12月に「ぶらむ保育園館腰(定員数90人)」が新規開園したことなどによるもの。可能な限り入所できるよう円滑な入所調整作業とあわせ、待機児童の解消に努める。	こども支援課
34	2-4-1 保育サービスの充実	○短時間就労などの様々な就労形態や生活状況に対応できる保育サービスの充実を図ります。	①・③	一時預かり実施施設数(施設)【累計】 (現状値) 4施設 → (目標値) 5施設	4 (0)					0.0%	一時預かりを実施していた施設のうち高館あおぞら保育園において、職員数の不足により令和元年度については事業休止となったことから1施設減となった。なお、令和2年度から高館あおぞら保育園は事業再開しているが、令和3年度より愛の杜めぐみ保育園が事業休止となっている。	こども支援課
35	2-4-2 相談支援体制の充実	○産後うつ等の予防のため、産婦に対する支援の充実を図ります。	①・③	育児ヘルプサービス事業によるホームヘルパー派遣件数(件) (現状値) 445件 → (目標値) 600件	310					-87.1%	令和2年度は新型コロナウイルス感染症が心配との理由でホームヘルパー派遣数が伸びなかった。今後は支援が必要な産婦に、必要な時期に導入できるよう努める。	保健センター
36	2-4-2 相談支援体制の充実	○子ども家庭総合支援拠点の整備や子育てコーディネーターの活用等により、子どもやその家庭、育児に不安や困難を抱える保護者等を把握し、適切な支援につなげます。	①・③	子ども家庭総合支援拠点事業の実施 (現状値) - → (目標値) 実施	-					-	こども支援課事務室が庁舎北側に移転後(R3.11)に、子ども家庭総合支援拠点事業を開始する。児童家庭相談システムを構築し、相談業務の効率化を図る。また、拠点となって関係機関との連携を深め、家庭児童を支援する。	こども支援課
37	2-4-3 子育て支援情報の発信	○イベント開催や子育て情報専用サイト等、様々な機会や媒体を通じて子育て支援にかかるわかりやすい情報発信の強化に努めます。	①・③	「e-なとりっこ」アクセス数(件) (現状値) 65,520件 → (目標値) 72,000件	120,576					849.6%	令和元年度のアクセス数117,967件と比較すると2,609件の増となっている。市民ニーズに合わせた情報の鮮度・情報の見やすさなど、より充実した内容となるよう努める。	こども支援課
38	2-4-4 地域ぐるみの子育て支援の推進	○子育て家庭同士が交流したり、情報交換できる場の充実やサークル活動の活性化を図ります。	①・③	子育て支援拠点の利用者数(人) (現状値) 18,921人 → (目標値) 21,985人	20,955					66.4%	令和元年度の施設利用者数42,197人と比較すると21,242人の減となっている。主な要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響で利用を中止及び利用制限をかけたことによるものである。	こども支援課
39	2-4-5 子どもの居場所の充実	○子どもたちが安心して健全に遊んだり、世代を超えて交流できる場所の充実に努めます。	③	児童センターの施設利用者数(人) (現状値) 265,940人 → (目標値) 324,000人	230,661					-60.8%	令和元年度の施設利用者数279,224人と比較すると48,563人の減となっている。主な要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年4月～5月の自由来館利用を中止したこと、及び行事(イベント)の開催が減少したことによるものである。	こども支援課
40	2-4-6 次代の親の育成支援	○保育所、幼稚園、児童センターなどにおいて、中高生が乳幼児や小学生とふれあう機会を拡充します。	③	保育所で職場体験の受入をした中学生の人数(人) (現状値) 150人 → (目標値) 150人	0					0.0%	令和元年度の受入人数は6施設・98人であったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中学校からの依頼がなく受入実績がなかった。令和3年度は、感染症対策に留意して受入れ可能な環境を整えていく。	こども支援課

NO.	施策名	具体的な施策	数値目標項目	重要業績評価指標(KPI) 現状値:H29年度/目標値:令和6年度	進捗状況(令和2年度)					担当課		
					KPIに対する実績値						進捗率	令和2年度の取組内容及び今後の取組方針について
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
41	2-5-3 地域における居場所づくり	○就労などで放課後等に保護者が不在となる家庭の子どもや、困難や生きづらさを抱えている子どもたちが、安心して自分らしく過ごすことができる居場所の充実を図ります。	③	放課後児童クラブ登録人数(人) (現状値) 793人 → (目標値) 1,057人	952					60.2%	令和元年度の登録人数930人と比較すると22人の増となっている。放課後児童クラブは利用ニーズが増えており、安全に過ごせる場所の確保として、利用者が特に多い増田児童センターのクラブ室を増設し、令和3年3月に完成した。	こども支援課
42	6-1-5 なとりの魅力の発信	○結婚を希望する方々に対し、出会いの機会の創出を図るとともに、結婚についての悩みに対する相談に取り組みます。	①・③	婚活イベント参加者数(人) (現状値) 188人 → (目標値) 200人	0					-1566.7%	コロナ禍によりイベントを実施する予定であった団体・企業より令和2年度事業の中止の申し入れがあった。令和3年度についてもコロナウイルス感染症の拡大状況を見つつ、また、オンラインでの開催等、コロナ禍であっても実施可能な方法での実施について、主催者に働きかけを行っていく。	なとりの魅力創生課

【基本目標④】

ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

(1)基本目標に対する数値目標

		R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績	目標値	進捗率
① 名取市に住み続けたいと思う市民の割合	79.1% → 84.1%	- (%)					84.1 (%)	-
② 美しい景観づくりに関する市民の満足度	26.9% → 31.9%	- (%)					31.9 (%)	-

<各項目の実績値の表記について>

●2段書きの場合
 上段:当該年度までの延べ実績値(目標値が述べ実績値)
 下段()書き:当該年度(単年度)の実績値
 ●1段書きの場合
 当該年度終了時点での実績値

(2)施策の基本的方向

- (ア) 市民一人ひとりが様々な災害・危機を想定しつつ、それぞれの置かれた状況に応じて対策・準備を行うための支援を行います。
- (イ) 関係機関や近隣市町と連携し、医療体制の確保及び救急医療体制の強化に努めます。
- (ウ) 生涯にわたって主体的な学習活動を支援するため、市民ニーズに応じた学習機会の充実を図るとともに、学習成果を発表する場の充実や学習で得た知識・技術を地域に還元する場の創出に努めます。
- (エ) 市民が安全に安心してスポーツができる施設・設備の計画的な整備と、指導者の確保に努めます。
- (オ) 市民が自然に触れることのできる場の整備や機会の充実を図るとともに、環境教育やレクリエーション活動等への活用を図ります。
- (カ) 安全な道路環境の維持管理と利便性の高い幹線道路の整備、仙天空港周辺の土地利用を促進するとともに、ニーズに対応した公共交通体系の構築に努めます。
- (キ) 多様な主体がまちづくりの方向性や地域課題を共有するため、様々な機会や媒体を通じてわかりやすい形で情報発信するとともに、市民の意見をまちづくりに反映するための機会の充実を図ります。

(3)具体的な施策・施策ごとの進捗状況

NO.	施策名	具体的な施策	数値目標項目	重要業績評価指標(KPI) 現状値:H29年度/目標値:令和6年度	進捗状況(令和2年度)						担当課	
					KPIに対する実績値					進捗率		令和2年度の取組内容及び今後の取組方針について
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
43	1-1-2 自主防災組織の強化	○地域防災の要となる自主防災組織の組織化を支援するとともに、自主防災組織の防災訓練への参加等により、組織力の維持・強化を促進します。	①	自主防災組織組織率(%) (現状値) 78% → (目標値) 84%	79.1					18.3%	前年度から継続支援していた地区について、確実な設立につなげた。 今後は、新たな未組織化地区への声掛けを行い、組織率向上につなげる。	防災安全課
44	1-1-3 避難支援体制の強化	○市民に的確な災害情報を迅速に伝え、災害の被害拡大を防止するため、Jアラート及びJアラート連動システム並びに防災行政無線の整備、防災ラジオの普及、コミュニティFMの活用等、情報提供環境の整備を推進します。	①	防災ラジオ普及台数(台)【累計】 (現状値) 4,695台 → (目標値) 6,090台	5,441 (183)					53.5%	令和2年度においては、市HP、市広報への記事の掲載等により、より幅広く配布周知を行った。 今後も継続して配布周知に努め、防災ラジオの普及促進を図る。	防災安全課
45	1-3-2 救急救助体制の充実	○救急救命士の養成等により増強を図るとともに、救急隊員教育を充実させ、救急隊員の資質・技術と救命率の向上に努めます。	①	救急隊の現場到着までの平均時間(分) (現状値) 8.6分 → (目標値) 8.2分	9.0					-100.0%	救急隊4隊運用で時間短縮が期待されたが、出動までの時間がコロナ禍における感染防止の徹底で、現場到着時間まで影響したと考えられる。 今後については出動までの時間を検証し、現場到着時間の短縮を図る。	消防本部
46	2-2-1 地域医療体制の強化	○県、関係機関と連携し、医療従事者の確保に向けた取り組みを促進します。	①	市内医療施設(病院・診療所)数(施設) (現状値) 51施設 → (目標値) 52施設	52					100.0%	眼科・透析・内科(皮膚科・下肢動脈瘤)の医療機関が開院。 今後も関係機関と情報共有に努める。	保健センター
47	4-4-3 学びの成果を生かす仕組みの確立	○地域学校協働活動やマナビ講師派遣事業等、市民が学習した成果を発表する場の提供を支援します。	①	マナビ市民講師の派遣回数(回) (現状値) 156回 → (目標値) 200回	82					-168.2%	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数が大幅に減少した。今後、新しい生活様式に応じた学びが推進されるよう、一層のPRと内容の工夫を図る。	生涯学習課
48	4-5-2 スポーツ施設の整備充実	○屋内・屋外体育施設の整備を図り、市民にとって利用しやすい施設環境の維持に努めます。	①	体育施設利用者数(人) (現状値) 416,557人 → (目標値) 440,000人	260,707					-664.8%	新型コロナウイルス感染症感染拡大による施設の臨時休館等の使用制限により、前年比131,280人減となった。 今後も感染状況を見極め、感染防止対策を行いながら、利用者増を目指す。	文化・スポーツ課
49	5-1-2 自然とふれあえる場と機会の提供	○魅力ある自然散策路や海岸散策路の整備に向け、五社山までの直登ルート、樽水ダムから五社山へのルート、増田川沿いのルート整備を検討します。	①・②	整備状況 (現状値) 未整備 → (目標値) 整備着手	未整備					0.0%	令和2年度に直登ルートの工事設計を行った。 令和3年度に直登ルートの工事を行う。	クリーン対策課

NO.	施策名	具体的な施策	数値目標項目	重要業績評価指標(KPI) 現状値:H29年度/目標値:令和6年度	進捗状況(令和2年度)						担当課	
					KPIに対する実績値					進捗率		令和2年度の取組内容及び今後の取組方針について
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
50	5-3-1 緑化の推進と環境美化の促進	○市道等における街路樹の整備や法面の緑化など、市街地における花と緑の環境づくりを推進します。	①	公園・緑地の整備に関する市民の満足度(%) (現状値) 34.2% → (目標値) 35.0%	第六次長期総合計画の中間で予定する市民意識調査で確認することとしている。 					-	公園施設及び緑地利用者の安心・安全な環境を保持するため、地区毎に必要な日常的な保全管理を行っており、市民の満足度が向上するよう継続して取り組む。	都市計画課
51	5-5-1 安全・安心な道路整備の推進	○狭隘道路や未舗装道路など、市民生活に密着した生活道路の改良を計画的に推進します。	①	市道改良率(%) (現状値) 81.0% → (目標値) 85.2%	82.02					24.3%	令和2年度は市道梶前線、二間橋線、太夫宮下線、余方大沢線の整備を完了した。引続き現在継続中の道路事業の整備促進を図るとともに、令和3年度は新規路線2路線に着手する。	土木課
52	5-5-1 安全・安心な道路整備の推進	○安全・安心な歩行空間の確保ができるよう、歩道の拡幅とバリアフリー化の推進に努めます。	①	歩道のバリアフリー整備延長(m)【累計】 (現状値) 3,800m → (目標値) 4,740m	4,361 (71)					59.7%	令和2年度は、歩道整備をL=71m実施した。今後についても、国庫補助の財源確保につとめ、歩道整備を進める。	土木課
53	5-5-4 利便性の高い公共交通の構築	○乗合バス「なとりん号」について、乗車実績や市民ニーズを調査・分析しながら、利便性の高いバス体系等の構築に努めるとともに、利用促進に向けた啓発に努めます。	①	市が主体となって実施する公共交通(なとりん号)の利用者数(人) (現状値) 401,649人 → (目標値) 497,000人	376,816					-26.0%	令和2年度は6月から愛島線の増便、10月から閑上線をサイクルスポーツセンター経由に変更したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用者数は大きく減少した。	防災安全課
54	5-6-2 周辺施設等の整備促進	○仙台空港周辺の防災集団移転元地の活用に向け、土地利用の可能性と利用促進を検討します。	①	防災集団移転元地土地利用検討プランの策定 (現状値) - → (目標値) 策定	着手済み					-	北釜地区については、土地利用の検討により、都市計画マスタープランに「臨空拠点」としての位置づけを行い、土地利用の検討を行った。他地区については、今後継続して検討する。	北釜整備推進室
55	5-8-2 親水空間の整備	○親水空間としての機能向上を目指し、国と連携したかわまちづくりを推進します。	①・②	閑上地区で進めている「かわまちづくり事業」の実施件数(件)【累計】 (現状値) -件 → (目標値) 2件	1 (0)					50.0%	平成31年4月25日にかわまちでらず閑上がオープンしている。他の1件については基盤整備として下記事業を実施予定。 ○河川敷の芝生化 …令和3年度冬季親水エリア着工、竣工 ○多目的広場の護岸整備 …令和3年度以降に着工・令和6年度以降竣工予定	商工観光課
56	6-1-5 なとりの魅力の発信	○関係団体と連携しながら、子どもたちが自然の中で自由に遊べる冒険遊び場づくり事業を支援するなど、地域への愛着を育むことで将来を担う人材の育成を図ります。	①	冒険遊び場事業の実施件数(件) (現状値) 1件 → (目標値) 1件	0					-	令和2年度に実施方法を検討し、令和3年度から委託により、実績のある市内2団体への委託により年間合計6回開催することとなっている。	なとりの魅力創生課
57	6-2-1 協働の意識づくり	○「自分たちのまちは自分たちでつくる」を主眼とし、将来を担う小中高生が提案、実施する自主的な活動を支援することもファンド事業を通して、多くの子ども達がまちづくり活動に携わることで、まちづくりの楽しさ、大切さを学び将来の活動へつなげていきます。	①	こどもファンド事業提案数(件) (現状値) -件 → (目標値) 13件	11					84.6%	11団体の提案に対し、採択されたのは10団体だった。今後も事業の周知を行い、より多くの子どもたちがまちづくりの楽しさ、大切さを学べるよう努める。	市民協働課
58	6-2-3 市民活動の促進	○「名取市市民活動促進指針」にもとづき自主的かつ積極的な市民活動を促進します。	①	市民活動団体数(団体)【累計】 (現状値) 103団体 → (目標値) 110団体	113 (2)					142.9%	令和2年度の新規団体登録は8団体(任意団体6、NPO法人2)となっている。登録解除団体は6団体(任意団体6)のため、前年度と比較して2団体の増。	市民協働課